

淡路（三原川等）地域総合治水推進計画（改定案）の主な修正箇所一覧

【新旧計画の目次構成の比較（1/3）】

	現計画：令和3年3月版	改定案（本編）	改定案（資料編）
目次構成	<u>1. 計画地域の概要</u> 1-1. 計画地域の概要 (1) 土地利用・地形 (2) 気候 (3) 自然環境 (4) 歴史・文化 1-2. 洪水被害の発生状況 (1) 淡路地域の過去の洪水 (2) 近年の主要な洪水被害の状況 (3) 浸水被害の特徴 (4) ため池の被災 1-3. 河川・下水道の整備状況 (1) 河川の整備状況 (2) 下水道（雨水）の整備状況 1-4. 総合治水を推進していく上での課題 1) 河川対策の限界 2) 下水道対策の限界 3) 流域の保水能力の低下 4) 地域防災力の低下や水害リスクに対する意識の希薄化 1-5. 淡路地域の特徴と総合治水の方向性 (1) ため池の安全管理と活用 (2) 御食国淡路における農地の活用 (3) 内水氾濫域でのポンプの活用・施設耐水化・避難方法の検討 (4) ダムの活用 (5) 脆い地質により多発する土砂災害への対応 <u>2. 総合治水の基本的な目標</u> 2-1. 計画地域 2-2. 計画期間 2-3. 基本目標	<u>1. 計画地域の概要</u> 1-1. 計画地域の概要 (1) 土地利用・地形 (2) 気候 (3) 自然環境 (4) 歴史・文化 1-2. 洪水被害の発生状況 (1) 洪水被害の発生状況の概要 (2) 浸水被害の特徴 1-3. 浸水被害軽減に向けた課題 (1) 全般 (2) 河川対策の限界 (3) 下水道対策の限界 (4) 流域の保水能力の低下 (5) 地域防災力の低下や水害リスクに対する意識の希薄化 1-4. 淡路地域の特徴と総合治水の方向性 (1) ため池の安全管理と活用 (2) 御食国淡路における農地の活用 (3) 内水氾濫域でのポンプの活用・施設耐水化・避難方法の検討 (4) ダムの活用 (5) 脆い地質により多発する土砂災害への対応 <u>2. 総合治水の基本的な目標</u> 2-1. 計画地域 2-2. 計画期間 2-3. 基本目標	<u>1. 計画地域の概要</u> 1-2. 計画地域の概要 (1) 土地利用・地形 (2) 気候 (3) 自然環境 (4) 歴史・文化 1-2. 洪水被害の発生状況 (1) 淡路地域の過去の洪水 (2) 近年の主要な洪水被害の状況 (3) 浸水被害の特徴 (4) ため池の被災 1-3. 河川・下水道の整備状況 (1) 河川の整備状況 (2) 下水道（雨水）の整備状況

計画地域に関するデータ類を資料編に記載

河川・下水道の整備状況に関するデータ類を資料編に記載

(1) 全般を追記

【新旧計画の目次構成の比較(2/3)】

	現計画：令和3年3月版	改定案（本編）	改定案（資料編）
目次構成	<u>3. 総合治水の推進に関する基本的な方針</u> 3-1. 全般 3-2. 河川下水道対策 3-3. 流域対策 3-4. 減災対策 <u>4. 河川下水道対策</u> 4-1. 河川の整備及び維持 (1) 河道対策 (2) ダム 4-2. 下水道の整備及び維持 <u>5. 流域対策</u> 5-1. 調整池の設置及び保全 5-2. 土地等の雨水貯留浸透機能の確保 (1) ため池 (2) 水田 (3) 学校・公園、その他大規模施設 (4) 各戸貯留 5-3. 貯水施設の雨水貯留容量の確保 (1) 利水ダムの事前放流 (2) ため池の安全管理と水位低下による雨水貯留量の確保 5-4. ポンプ施設との調整 5-5. 遊水機能の維持 5-6. 森林の整備及び保全 5-7. (参考) 山地防災・土砂災害対策 <u>6. 減災対策</u> 6-1. 浸水が想定される区域の指定・県民の情報の把握 (1) 浸水想定区域図の作成・公表 (2) ハザードマップの作成・配布 (3) 災害を伝える 6-2. 浸水による被害の発生に係る情報の伝達 (1) 住民に対する防災情報発信 (2) 市に対する情報発信	<u>3. 総合治水の推進に関する基本的な方針</u> 3-1. 全般 3-2. 河川下水道対策 3-3. 流域対策 3-4. 減災対策 <u>4. 河川下水道対策</u> 4-1. 河川の整備及び維持 (1) 河道対策 (2) ダム 4-2. 下水道（雨水）の整備及び維持 <u>5. 流域対策</u> 5-1. 調整池の設置及び保全 5-2. 土地等の雨水貯留浸透機能の確保 (1) ため池 (2) 水田 (3) 学校・公園、その他大規模施設 (4) 各戸貯留 5-3. 貯水施設の雨水貯留容量の確保 (1) 利水ダムの事前放流 (2) ため池の安全管理と水位低下による雨水貯留量の確保 5-4. ポンプ施設との調整 5-5. 遊水機能の維持 5-6. 森林の整備及び保全 5-7. (参考) 山地防災・土砂災害対策 <u>6. 減災対策</u> 6-1. 浸水が想定される区域の指定・県民の情報の把握 (1) 浸水想定区域図の作成・公表 (2) ハザードマップの作成・配布 (3) 災害を伝える 6-2. 浸水による被害の発生に係る情報の伝達 (1) 住民に対する防災情報発信 (2) 市に対する情報発信	<u>2. これまでの取組実績（平成26年度～令和5年度）</u> 2-1. 河川下水道対策 (1) 河川の整備及び維持 1) 河道対策 2) ダム (2) 下水道（雨水）の整備及び維持 2-2. 流域対策 (1) 調整池の設置及び保全 (2) 土地等の雨水貯留浸透機能の確保 1) ため池 2) 水田 3) 学校・公園、その他大規模施設 4) 各戸貯留 (3) 貯水施設の雨水貯留容量の確保 1) ため池の安全管理と水位低下による雨水貯留量の確保 (4) 森林の整備及び保全 2-3. 減災対策

これまでの取り組みや施設一覧表等を資料編に記載

これまでの取り組みや施設一覧表等を資料編に記載

【新旧計画の目次構成の比較(3/3)】

	現計画：令和3年3月版	改定案（本編）	改定案（資料編）
目次構成	6-3. 浸水による被害の軽減に関する学習 (1) 防災教育の推進 (2) 防災リーダーの育成 (3) 防災マップの作成・支援 6-4. 浸水による被害の軽減のための体制の整備 (1) 避難方法の検討・避難施設等への案内板等の整備 (2) 適切な水防体制の整備 6-5. 訓練の実施 6-6. 建物等の耐水機能の確保 6-7. 内水氾濫域での適正な土地利用 6-8. 浸水による被害からの早期の生活の再建 (1) 共済制度の加入促進 (2) 災害時応援体制の確立 <u>7. 環境の保全と創造への配慮</u> <u>8. 総合治水を推進するにあたって必要な事項</u> 8-1. モデル地区の選定 8-2. 地域住民相互の連携 8-3. 関係機関相互の連携 8-4. 財源の確保 8-5. 計画の見直しについて <u>9. 流域対策モデル地区での取組</u> 9-1. 流域対策の進め方 9-2. 洲本川水系での流域対策の取組 9-3. 三原川水系での流域対策の取組 9-4. 志筑川水系での流域対策の取組 9-5. 今後流域対策を進めていく上での課題	6-3. 浸水による被害の軽減に関する学習 (1) 防災教育の推進 (2) 防災リーダーの育成 (3) 防災マップの作成・支援 6-4. 浸水による被害の軽減のための体制の整備 (1) 避難方法の検討・避難施設等への案内板等の整備 (2) 適切な水防体制の整備 6-5. 訓練の実施 6-6. 建物等の耐水機能の確保 6-7. 内水氾濫域での適正な土地利用 6-8. 浸水による被害からの早期の生活の再建 (1) 災害時応援体制の確立 <u>7. 環境の保全と創造への配慮</u> <u>8. 総合治水を推進するにあたって必要な事項</u> 8-1. 地域住民相互の連携 8-2. 関係者相互の連携 8-3. 財源の確保 8-4. 推進計画のフォローアップと見直しについて	(1) 浸水による被害の軽減に関する学習 1) 防災マップの作成・支援 (2) 浸水による被害からの早期の生活の再建 1) 共済制度の加入促進 これまでの取り組みや施設一覧表等を資料編に記載 <u>3. 計画改定履歴</u> 計画改定履歴を追記

【主な修正箇所】

資料確定後再チェック

No.	ページ 番号	主な修正箇所	修正内容
1	—	はじめに	改定の趣旨を記載
2	1	地域の概要	数値等の精査、時点更新
3	4	全般	気候変動の影響を追記
4	5	地域防災力の低下や水害リスクに対する意識の希薄化	最新のアンケート結果に更新
5	6	淡路地域の特徴と総合治水の方向性	数値等の精査、時点更新
6	9	基本目標	対策対象箇所の精査
7	10	全般	ひょうごインフラ整備プログラムを記載 気候変動、SDGs、DX の推進等を追記
8	10	河川下水道対策 河川	対策対象箇所の精査 ひょうごインフラ整備プログラムを追記
9	11	減災対策	区域の指定に市を追加
10	12	河川下水道対策	河川改修率を記載
11	12	洲本川水系	整備状況、今後の対策箇所を記載
12	13	三原川水系	対策対象箇所の精査
13	15	内水対策	市が実施する取組内容を追加
14	17	中上流部における緊急的な取組み	対象箇所の更新
15	19	河川の維持・管理	新たな取組みとして追加
16	20	ダム	事前放流の内容を追加 ダム諸元の精査
17	21	下水道（雨水）の整備及び維持	新たに「雨水管理総合計画の策定」を記載 整備状況等の数値、諸元の更新、精査
18	24	調整池の設置及び保全	数値の時点更新
19	25	ため池	「緊急放流設備」は貯留施設の雨水貯留量の確保 に記載
20	26	ため池	取組内容の時点更新 取組事例を淡路地域（洲本市）のものに変更
21	27	水田	水田貯留による雨水貯留容量を記載 他県、他地域での事例を削除 支援制度の内容を精査
22	29	水田	数値の時点更新
23	30	学校・公園、その他大規模施設	3 市統合ごみ処理施設を追加
24	32	各戸貯留	数値の時点更新
25	33	利水ダムの事前放流	期間放流の内容を記載 ダム諸元の数値の精査

26	35	ため池の安全管理と水位低下による雨水貯留容量の確保	事前放流の取組の記載 「ため池管理アプリ」の記載
27	39	ポンプ施設との調整	施設数の精査
28	40	森林の整備及び保全	最新版に更新
29	43	浸水想定区域図の作成・公表	雨水出水浸水想定区域図、ため池決壊による浸水想定区域図の記載
30	44	ハザードマップの作成・配布	洪水ハザードマップの情報の更新
31	46	「ひょうご防災ネット」による情報発信	スマートフォンアプリの追加
32	47	市に対する情報提供	ホットラインの内容を記載
33	49	防災教育の推進	事業廃止（統合）に伴い、「学ぼう災教育」の記載を削除
34	50	防災リーダー育成	記載内容の精査
35	52	避難方法の検討・避難施設等への案内板等の整備	高齢化率の時点更新
36	52	適切な水防体制の整備	大規模工場等へ自衛水防の啓発を記載 消防団、自主防災組織の数値の時点更新
37	53	建物等の耐水機能の確保	施設の新築・建替時に留意した取組みを記載
38	56	共済制度の加入促進	数値の時点更新
39	57	災害時応援体制の確立	災害時応援体制の確立状況を記載
40	58	環境の保全と創造への配慮	最新版に更新